

# イヌノヒゲ

*Eriocaulon miquelianum* Koern.  
ホシクサ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内各地区に生育するが、湿原環境の悪化で絶滅が危惧されるため今回新たに要注目とした。

## 分 布

本州～九州に分布する。県内ではおおい町、小浜市、美浜町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市、鯖江市、福井市、勝山市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

無茎の一年草。葉は線形で長さ6～20 cm、中部の幅は1～3 mm、7～9脈で格子状、先はとがる。花茎は高さ5～10 cm、4～5肋あってねじれる。鞘は長さ4～8 cm。種子は倒卵状楕円形で長さ約1 mm、表面に微小なかぎ毛が多い。

## 生育を脅かす要因

湿原開発、自然遷移。

参考文献 若杉孝生 (2008b)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○

# ドロイ

*Juncus gracillimus* (Buchenau) V.I.Krecz. et Gontsch.  
イグサ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

塩性湿地という特殊な環境に生え、生育地が限定される。

## 分 布

北海道～九州に分布し、県内では坂井市～敦賀市にかけての海岸で見られる。

## 種の特徴

海岸の日当たり良い湿地などに生育する多年草。茎は高さ60～70 cm、円筒状。葉は線形で上面は凹む。花期は5～7月。花序は頂生し、大きいものでは長さ15 cmになる。蒴果は褐色～赤褐色で楕円形～倒卵形、やや光沢があり、花被片より長い。

## 生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○		○	○				○						○

# クモスズメノヒエ

*Luzula arcuata* (Wahlenb.) Sw. subsp. *umalashkensis* (Buchenau) Hultén  
イグサ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

奥越の深山の一部と亜高山帯にのみ生育する。

## 分 布

北海道（大雪山）、本州中部に分布し、県内では奥越の山地～亜高山帯に見られる。

## 種の特徴

高山の草原に生える多年草。茎は高さ15～25 cm。根出葉は多数あり、線形、長さ5～10 cm、幅2～3 mm。花期は7～8月。花序は頂生し、先は垂れ下がる。

## 生育を脅かす要因

産地局限、登山者による踏圧。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	